国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2024

8月中旬～9月中旬

季節のおすすめ散策コース♪（ゆっくり歩いて1時間）
おてがるコース♪（ゆっくり歩いて30分）

藍那口
小部明石線(県道52号)
藍那歩行者口
伝庫の家
里山情報館
木工棟
里山交流館
農村舞台
長屋門
盆処の丘（展望台）
野草園
白拍子の家
うめ林
もみじ谷
めだか池
畑中道
木見川
切通し
小野道
ハス田
小野水田
木見川散策路
相談ヶ辻の家
相談ヶ辻歩行者口
くり林
椿坂
せせらぎ広場
代ヶ谷棚田
もも林
サンデン休憩所
はんのき池
里山美林地区
さくら山
つつじの小道
BUS
トラム

いきもの

トノサマガエル（アカガエル科）
緑に黒い斑点模様が特徴的なカエル。田んぼに水が張られる頃、繁殖期を迎えます。

アサガオ（ヒルガオ科）
この白いアサガオは、伝庫の家の前家主である前中氏が、生薬「牽牛子（けんごし）」を作っておられたアサガオです。毎年種を採取して栽培を続けています。

マルバハギ（マメ科）
丸い葉っはのハギ。花序が短く、葉の間に埋もれるように花が咲くのが特徴。秋の七草。（9月～）

ネキトンボ（トンボ科）
平地の池や水田などで暮らす、全身真っ赤なトンボ。

コバネイナゴ（バッタ科）
日本全土にふつうに見られるイナゴの仲間。稲を食べることから、害虫として嫌われます。佃煮にして食べることができます。

ショウリョウバッタ（バッタ科）
明るい草地で暮らしている細長い葉っはのような姿をしたバッタ。
メスはオスの2倍ほど大きくなります。

カワラナデシコ（ナデシコ科）
別名ヤマトナデシコ。日本女性の美しさを、昔はこの花に例えて表現していました。秋の七草の一つ。

タコノアシ（タコノアシ科）
タコの足を引っくり返したような形からこの名前がつきました。秋の紅葉シーズンには赤く色づき、まるでゆでダコのよう。

おすすめスポット
里山美林散策路 ～緑陰の散策～
棚田景観を、木陰より見下ろしながら散策ができます。

キンミズヒキ（バラ科）
黄色い小さな花が集まって咲く様子を、金色の水引に見立てた名前。

おすすめスポット
木見川散策路 ～緑陰の散策～
樹木の葉が日差しをかわし、さわやかな気分で散策ができます。

ヒヨドリバナ（キク科）
ヒヨドリが鳴く頃に開花することからこの名がついたそうな。フジバカマにとてもよく似ています。

ゲンノショウコ（フウロソウ科）
昔から整腸薬として重宝されてきた野草。

草地や野草園で

キキョウ（キキョウ科）
秋の七草の「あさがお」はキキョウのこと。夏から咲きはじめます。

ススキ（イネ科）
秋の草地を代表する植物。秋の七草の尾花です。藍那では、茅葺屋根の材料として利用されてきました。（9月～）

ミソハギ（ミソハギ科）
"みそぎ"の儀式に使うことが名前の由来だそう。ちょうどお盆のころに咲くので、お供えの花としてもよく使います。

フジバカマ（キク科）
秋の七草の一つ。古い時代に中国から持ち込まれたものといわれています。葉や茎を乾燥させると、桜もちのようないい香りがします。

オミナエシ（スイカズラ科）
秋の七草の一つ。漢字では「女郎花」と書きます。しなやかな立ち姿を女性に例えたのかもしれませんね。

クズ（マメ科）
秋の七草の一つ。根がクズ粉や葛根湯の原料となりますが、繁茂しすぎて困ることも。